コロナ禍で生活困窮、社会的孤立を 支える立場から

豊中市社会福祉協議会の現場から

マスコットキャ ラクター"**び一のん**' よろしくね!!



社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 勝部麗子

3つの死との闘い

▶コロナ感染症による死

▶ コロナで減収した人の自殺

▶ コロナで地域のつながりを失った人の孤独死

全国の社会福祉協議会は今

コロナ特例緊急小口資金 総合福祉資金への対応

...コロナの影響で減収した人への貸付

この10月5日で緊急小口資金貸付 4834件

総合福祉資金貸付件数 3753件

総合延長 2054件(7/5)

再貸付 2540件

食材支援 7500件

困窮・大学生・濃厚接触者・外国人・子供世帯など

住居確保給付金約500件

飲食、イベント、観光、タクシー、様々な教室の先生、

美容師、俳優、格闘家、建設業等

豊中では毎日100件を超える相談

すでに相談は10000件を超えて

ゴ-ルデンウイークも年末も休日も返上で支えてきた

→一人も取りこぼさない活動を進めてきた

多言語での制度紹介パンフも...





緊急小口資金は在留資格の人も対象になったため

貸付件数 4000世帯のうち約5% 200世帯

飲食・英会話等の先生・音楽家・派遣労働者等

対象者 ネパール・インド・フィリピン・ブラジル

フランス・ペルー・ベトナム・タイ等

(国際結婚アメリカ・イギリス、モンゴル等)

→外国人労働者の厳しい実態が明らかになってきた

外国人向けのなんでも相談会を 市役所・国際交流センターと共作 (重層的支援体制整備を目指す包括支援プロジェク





家を失った人が増えている 早朝からのアウトリーチ





家を失った人の支援

- ▶ ネットカフェが緊急事態宣言で閉鎖され路上生活に
- ▶ 友人宅にいたが、店の持っていた寮だったため家を失う
- ▶ 家賃滞納で住居を失った 多数
- ▶ 会社の寮にいたが、会社の収入がなくなり、仕事をやめると家も失った
- ▶ コロナの影響で家賃が払えなくなり、夜勤の仕事を始めて夜は泊まれるが昼間行くところがない
- ▶ 離婚して家を出たが、泊まるところがなくなった
- ▶ DVで逃げてきたが家がない
- ▶ 離婚したかがお金がなくて家を出れない
- ▶ ローンが支払えない 売却しないと生活保護

豊中社協独自のフードバンク 困窮世帯など6000世帯に





食材支援プロジェクト 手作りマスクも...







市内在学在住一人暮らし大学生への食材支援 350世帯へ 新しいつ







社会福祉法人あいわ会と協働で ども宅食をスタート 支援中の60世帯に配食 8月には大人食堂実施





コロナ貧困の特徴

- ▶ リーマンショックとは違う リーマン主に製造業の派遣切り
- コロナは飲食・インバウンド・イベント、観光などの 自営業に被害が集中
- ⇒ コロナがおさまれば一定の収入が見込まれる
 - 例) ローンを組んでマンション購入
 - 自家用車で営業に使っている
 - →廃業してしまうとまた元の商売を行うために
 - はすごくハードルが上がる
- 今まで生活困窮と無縁の人も多い

貸付が途絶える人たちの支援

そもそも自営業…別の仕事に変わりたくない 副業や緊急雇用策があれば仕事をしたい 生活保護になるくらいなら死んだほうがましだと いう

- ⇒生活保護は病気や高齢により働けない人 が受けるものという考え
- ⇒仕事さえあれば働ける人たち 身ぐるみはがす生活保護になじまない
- ⇒自己責任論と生活保護のバッシングがひどさ

今、地域では

- ホームレスが増えている
- ▶ 見えなかった虐待が地域活動再開とともに 見えてくる
- ▶依存症の課題
- ▶孤独死など
- ▶地域活動への不安
- ▶外国人の技能修習生の課題

社会的孤立への対応

▶ 本来の社会福祉協議会の活動が貸し付けで進んでいけない

1,豊中市社会福祉協議会のCSWの 取り組み 排除から包摂へ

- ①制度の狭間から地域づくりへ
- ②住民と協働するワーカー
- ③ライフセーフティネットの仕組み
- ④プロジェクト会議(出口づくり) 総論賛成各論賛成 排除しない地域づくり
 - → 個の課題から地域づくりを考える ゴミ屋敷・子供の貧困・ひきこもり・8050 アルコール依存・刑余者・二人死などなど 社会的孤立へのアプローチ

【地域福祉推進専門職の役割】

豊中社協(案)

CSV

(制度の狭間の支援)

①見守りネットワーク

- ・小地域ネットワークの活性化
- マンションへの対応

③セーフティネットの

しくみづくり

⑥個別支援から地域づくり

②ローラー作戦・SSWとの連携

④なんでも相談のバックアップ

5地域福祉ネットワーク会議

7課題共有

福祉なんでも相談

(小地域福祉ネットワーク)

7人 生活支援 コーディネーター

(CSW と兼務)

- 介護予防
- ・高齢者の参加メニュー開発
- ・生活支援サービスの開発
- 民間サービスネットワーク
- 地域福祉

ネットワーク会議

地域包括支援センター

くらし支援 パーソナルサポートセンター

個別支援

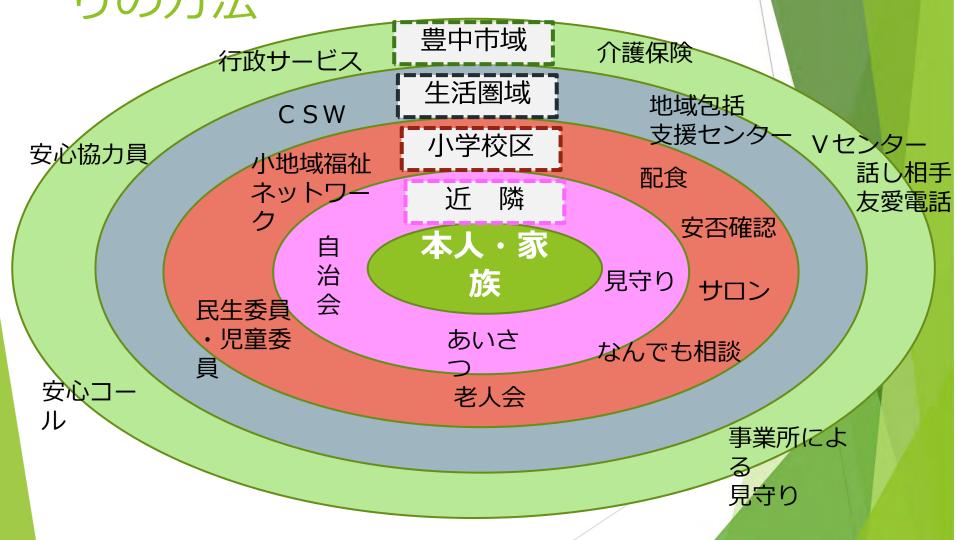
(伴走型)

• 就労 • 生活支援

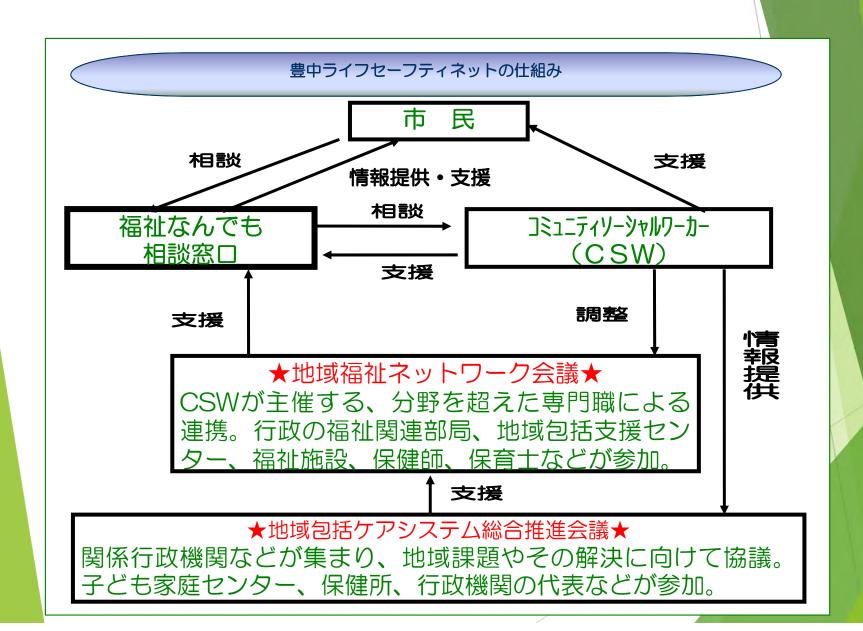
• アウトリーチ

生活困窮者自立支援制度

2,豊中における重層的な見守りの方法



3,丸ごと・多機関協働







一人も取りこぼさない② マンションサミット・マンション交流会



すべての人に居場所と役割を① 定年後

些はあじり





すべての人に居場所と役割を②

~子どもの居場所ネットワークの構築~

【内容】

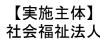
子ども食堂・フリータイム・ 学習支援(学生ボランティア)

《小学校区レベル》

ー人ぽっちをつくらない 生活力をつける 自己肯定感を高める 自分の役割を感じられる

《社会福祉協議会》 コンセプトの共有 フードバンクの構築 学習会の実施

【実施主体】 校区福祉委員会





※市内7圏域

「福祉施設を中心にした トワイライトステイ」

施設の社会貢献事業 地域で支えきれない子どもの支援

【内容】

子ども食堂・入浴・学習支援



《民間企業・NPOなどの活動団体レベル》

子どもの貧困対策 家庭の経済状況による学力格差の解消

4, 豊中の生活困窮者支援

生活困窮者支援緊急支援

貸付、日常生活自立支援、なんでも相談、資源ごみ持ち去り禁止条例との連携,学校などからの生活困窮者の伴走支援→CSWへ

(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、 制度利用、就労支援等)

- 善意銀行の生活困窮者貸付
- ▶ 民生委員助け合い資金
- ▶ 物品提供(衣類、食糧、リユース)
- ▶ 施設 社会貢献費用との連携
- ▶ 住替え支援
- ▶ 食材支援 フードドライブ



支えられていた人が支え手に変わる②

プログラム進捗状況 (就労体験)

- ▶就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験
 - ・出前市場のサポート…府営住宅での出前市場の際、

お買い上げの商品を家まで運ぶ











支えられていた人が支え手に変わる③

福祉便利屋(住民主体B1)の取組

え合い 200円











び一の×マル

びーの×マルシェオープン! 「豊中びーのびーの」(引きこもり等の若者支援事業)と「豊中市小売商業団体連合会」の協力でお店を6/12にオープン!





これまでの地域づくりの手法が 通用しない

- 集まってサロンを行って
- ▶ 集まって話し合って
- みんなで一緒に会食しながら
- ▶ わいわいがやがや

ソーシャルディスタンスは 人と人との距離が必要

→ 集まらなくても離れていてもつながる手法が 求められる

コロナで死ななくても孤立死が増えていく

#離れていてもつながろう

- ▶ 往復はがき
- ▶ 手作りマスク
- ▶ 校区福祉委員会の見守り
- はがき、ポスティング、電話
- ▶ 遠隔サロン
- ユーチューブチャンネル
- ▶ アンケート 当事者・ボランティア・外国人等2000人
- ▶ 新しい生活様式下での地域活動再開のためのガイドライン
- フードバンク

緊急支援・子ども食堂関連・ひとり親世帯・

一人暮らしの大学生等 3500世帯

往復はがきで安否確認

お久しぶりです。

庄内南校区社協ふれあいサロン「いこい」です。

島江大黒会館でのサロンが中止になって 3か月になります。

新型コロナウィルス感染拡大防止のため、やむを得ない措置ではありますが、この間、みなさま方はどのようにお過ごしなのでしょうか。

とても心配しています。

この度、密閉・密集・密接の3密を避けて、 何かできることをと考え、お試しで往復は がきでの交流を行うことにしました。

安否を確認させていただくとともに、みなさまの思いを共有する契機になればと 思っています。

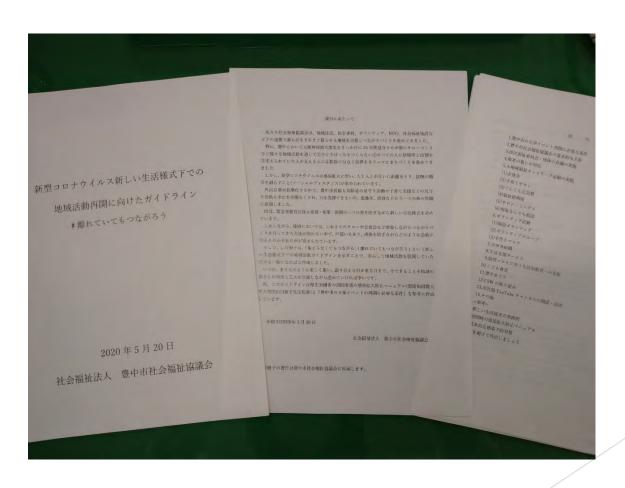
返信はがきを投函していただきますようお願いいたします。



当事者、ボランティア、外国 人など2000人のアンケート困 りごとを把握



新しい生活様式下での地域活 動再開に向けたガイドライン



豊中社協youtubeチャンネル 豊中社協TV 5月15日開局





会食会はテイクアウト方式に





ぐんぐん元気塾 人数を半分にまたは会場を倍の 大きさに変えて 茶話会なしに

. . .



講座は動画配信で...・





友愛訪問 お便りや七夕の笹やうちわ等 をもって短時間の玄関で



定年後の男性が宅地で農業を実施

些体裁心





豊中あぐり野菜販売 屋外での移動販売は距離を取って 屋内ではフェースシールドで...







子ども食堂は屋外野菜収穫体験

向かい合わずに スイカを食べます





屋外でテイクアウト 食事は手作りから業者弁当に



テイクアウト方式 手作り弁当から業者弁当で







わいわい子ども食堂は大学生ボー ティアと学習支援に形を変えて



会食会からキッチンカーへ







外出自粛で起きたこと

- ▶ 見守りが減ることで虐待などの発見が減る
- ▶ 高齢者が弱る・孤独死が起こる・自殺者が増える
- ▶ ボランティア自身が弱る…社会参加が介護予防だった証明
- ▶ コロナ警察のような人たちが現れ、住民が分断
- ワクチン接種の有無による分断

 \downarrow

- Oグローバルからローカルへ
- 〇知恵と工夫が試される(逆境力)そのためのルールが必要 地域活動再開のためのガイドライン
- 〇一人も取りこぼさない 排除から寛容・包摂へ
- 〇スローダウン 競争から共生へ
- ○食べる事の意味 食物自給力・農業の大切さ

出会って集って助けることはできないけれど…社会参加の新しい形

- ▶ お金や食材を寄付をしたり…社会参加の新しい形を提案
- ▶ 手作りマスクや絵手紙など自分の持っている力を発揮
- ▶ 電話や・手紙を書いてみたり…スローなかかわり
- オンラインに挑戦したり...
- ▶ 野菜作りは人をつなぎ支えることを改めて実感
- ▶ 集うための様々な知恵と工夫を...

制約のある中での 助け合いや社会参加の新しい形を